



義のために最後まで
戦い続けた男たちがいた。



★ 榎本 武揚



★ 土方 歳三



★ 矢田堀 鴻



流星忌



★ 松岡 馨吉

会場：日蓮宗 大法山 一乗寺

「箱館戦争関係者慰霊祭 in 谷中」のお知らせ

掲載人物写真は越崎宗一『北海道写真文化史』（新星社、昭和21年）、石橋純彦『回天艦長甲賀源吾伝〈附・函館戦記〉』（甲賀源吾伝刊行会、昭和7年）などより転載

2018年11月17日(土) 雨天決行

- 13:00 ~ 15:00 JR日暮里駅北口改札前集合、探墓巡礼顕彰会による谷中巡墓
- 15:00 ~ 慰霊祭(谷中一乗寺)
法要(祭文奉読、読経)及び松岡、柴、和田兄弟の墓前焼香
- 16:00 ~ 17:00 記念講演会 講演者(予定): 榎本隆充氏(榎本武揚曾孫)
※講演会場の都合により90名程度のお席になります
- 18:30 ~ 懇親会(日暮里駅付近の居酒屋にて予定)

発起人：古写真研究者 森重和雄 連絡先：ryuseiki2018@gmail.com



東京メトロ千代田線根津駅1番出口より徒歩およそ7分
JR山手線、京成本線日暮里駅より徒歩およそ10分

箱館戦争から150年、幕府軍艦蟠龍を率いた松岡磐吉の菩提寺で開催される同戦争関係者慰霊祭 in 谷中を記念し、同戦争や榎本武揚ゆかりの人物たちの墓碑を訪ねて歩ける、地図付き谷中ガイドブックを発行します。



※表紙見本

探墓巡礼顕彰会の紹介

探墓巡礼顕彰会は新選組・火盗改研究の第一人者である釣洋一先生の命名により、全国の墓碑情報を集め、事典等の情報の誤りを正し、埋もれた人物の掘り起こしを行うために平成21年3月に発足しました。現在3名の幹事により、調査・研究・企画を行っています。主に春と秋の年2回、都内の寺院や霊園で解説を行う巡墓会（平成29年現在15回実施）を開催し、幹事によるリレー連載「掃苔行脚」を月刊誌『歴史研究』に連載しております。

探墓巡礼顕彰会公式ブログ
https://blog.goo.ne.jp/tanbo_jyunrei



探墓巡礼顕彰会執筆者

■ 加藤 健太郎 かとう けんたろう

昭和50年静岡県静岡市生まれ。歴史研究家。高知大学人文学部日本近代史専攻。卒論は高知県における反自由民権派、共著『高知県謎解き散歩』（新人物文庫）。現在『歴史研究』誌上に「掃苔行脚」をリレー連載。旗本150俵・加藤家子孫。

■ 金子 千滋 かねこ ゆきしげ

昭和54年神奈川県川崎市生まれ。歴史研究家。大正大学文学部史学科卒。会社員生活の傍ら墓碑調査・家系調査・一族史研究を行っている。現在『歴史研究』誌上にてリレー連載中の「掃苔行脚」にて「二本松掃苔録」を連載中。

■ 黒坂 拓哉 くらさか たくや

平成元年東京都荒川区生まれ。歴史研究家。立正大学院文学研究科修士課程日本近現代史専攻。墓碑研究は主に旧華族家。現代までの多岐にわたる著名人の掃苔を行う。『歴史研究』誌上のリレー連載「掃苔行脚」では「皇室の藩屏」を連載中。

★この本の中で紹介される人々

根津勢吉、永井尚志、佐々木只三郎、佐藤泰然、矢田部卿雲、藤澤次謙、神田孝平、大野右仲、村垣範正、松平忠敏、榎本長裕、林研海、古谷簡一、益田克徳、吉井茂則妻台子（松岡磐吉娘）、雲井龍雄、福田重回、渋澤栄一、徳川慶喜、阿部正弘、平山省齋、岩橋教章、古屋佐久左衛門、高松凌雲、眞作秋坪、小花万次、山岡鉄舟、小杉雅之進、高橋泥舟、石橋純彦、松岡磐吉、柴誠一、海老名季昌先祖、荒井郁之助家家族、伊東玄伯など



※本文見本

事前注文については下記のメールアドレス、FAXもしくは、探墓巡礼顕彰会のブログまで。

発行者：〒187-0044 東京都小平市喜平町1-2-13 (株) レクテック出版部門【出版舎 風狂童子】 杉崎 忠博

注文先メールアドレス：sugisaki-rect@jcom.home.ne.jp FAXによるご注文はこちらへ **042-325-6519**

注文書	ご住所			
	お名前	お電話	E-mail	
	部数	冊	『探墓巡礼～箱館戦争関係人物を歩く～ 谷中編』 頒布価格は1,000円(税・送料を含む)を予定	
	注文日	月 日		